

同志社よ、その名は一つの目的を意味する

ONE PURPOSE

【同志社人訪問】

フェンシング女子エペ個人
パリオリンピック日本代表選手

よしむら みほ
吉村 美穂さんに聞く

2024 Summer | Vol.213

巻頭企画【リーダーに訊く】

トヨタアルパルク東京株式会社
代表取締役社長

はやし くにひこ
林 邦彦さん

THE SPORTS FRONTIER

これからのスポーツのありかた

同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY

—同志社と体育の先駆的な関係を踏まえて

教育・競技の域を超え、 架け橋になるスポーツ

VISION 2025

DOSHISHA UNIVERSITY

同志社は2025年、創立150周年

150年の歴史をたどる #5 スポーツ

History of DOSHISHA

「温故知新」。未来
への挑戦の指針

を学びとるべく、積み重ねてきた歴史をたどる。同志社は新島襄を中心に、幾多の困難を乗り越え、志を同じくする人々の祈りの中から誕生しました。「150年の歴史をたどる」第5回は、同志社の教育の根幹に関わりながら、時代ごとに盛り上がりを見せてきたスポーツを紹介します。

INDEX

- 02 150年の歴史をたどる #5 スポーツ
- 04 巻頭企画「リーダーに訊く」 トヨタアルパルク東京株式会社
代表取締役社長 林 邦彦さん
- 08 研究の最前線 スポーツ健康科学部 河西 正博助教
- 10 DOSHISHA DNA
パリパラリンピック アーチェリー男子リカーブ日本代表 上山 友裕さん
- 12 ホームカミングデー／オウンドメディア開設／新YouTubeチャンネル開設
- 14 データでみる同大生の 2023年度 就職状況
- 16 2024年度 大学予算
- 17 2023年度 大学決算
- 18 ゼミで学ぶ 魅力を語る
- 20 本学教員の執筆図書紹介
- 21 同志社人訪問 フェンシング女子エベ個人
パリオリンピック日本代表選手 吉村 美穂さん
- 24 My Purpose 挑戦する人 吉田 陽菜さん(グローバル地域文化学部1年次生)

お知らせ

「ONE PURPOSE」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。同志社大学の最新情報は随時ホームページでお知らせしております。ぜひご覧ください。 ▶ <https://www.doshisha.ac.jp/>

卒業生の住所変更、発送停止を希望される場合の連絡先は以下にお願いします。
校友課 TEL: 075-251-3009 MAIL: ji-koyu@mail.doshisha.ac.jp



1860

アーモスト大学の昔の体育館
バレット体育館



知識や教育の源流をさかのぼると、たどり着く古代の哲学者たち。ソクラテス、プラトン、アリストテレス…。いずれの肖像も見事な肉体をしています。なぜ皆、筋骨隆々なのか—それは、「精神と肉体との間には密接なつながりがある」と考えられていたからではないでしょうか。

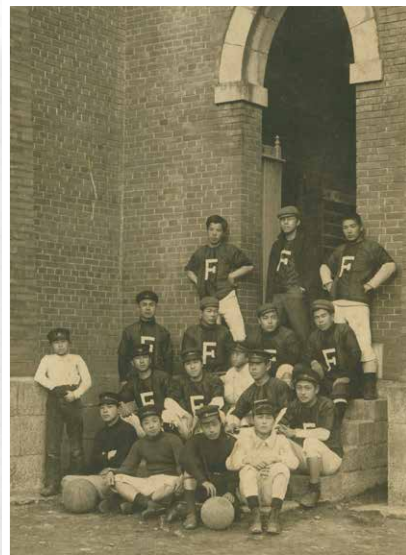
新島襄が学んだアーモスト大学では、体育が重要視されていました。その考え方の根底には、リーダーの資質「知・徳・体」を育むというリベラル・アーツ・カレッジとしての「目的」がありました。「知」とはギリシア語やラテン語の古典を通じてゆつくりと養われていくもの。「徳」はキリスト教によって徐々に体の内からつくり出されるもの、とされています。そして「体」は、「知」と「徳」の受け皿。しかし、アーモスト大学における体育は「体」を知性や道徳を補完する、健全な肉体を鍛え上げるものとして積極的に捉えられていました。同志社でもこの考えを受け継ぎ、体育に力が注がれてきました。

1903

明治末期の野球部

また同志社では、体育と共に、課外活動としてのスポーツが盛んに行われていました。1905年頃には、スポーツ団体をまとめた同志社運動会が組織され、各課外活動が正式な「部」によりスポーツが活発に行われるようになっていきます。時代が大正になると、同志社の部活動は華々しい活躍を収めていきます。野球部・ラグビー部、相撲部などが、数々の大会で優勝。輝かしい戦績は、卒業生にとっても誇らしいものでした。昭和に入ると、さらに卓球部、柔道部、バスケットボール部などの活躍も。とりわけ大きな盛り上がりを見せた競技が、陸上と水泳です。1932年のロサンゼルスオリンピックにて、同志社大学の西貞一が陸上競技200mと4×400mリレーに、同志社高等女学部の横田みさをが水泳1000m背泳と4×1000mリレーに出場を果たします。その後のオリンピックでも、在学生・卒業生は、フェンシング、アーチェリーなど数々の競技で出場、メダルを獲得。同志社に関わる人々を高揚させ、愛校心を刺激しています。

活躍を続ける同志社のスポーツのなかには、「知・徳・体」の精神が今も受け継がれています。「我々は、スポーツ活動を



明治末期の蹴球部

1909



第三高等学校との練習試合(ラグビー部)。
他校との交流戦も盛んに行われた

1926

「教育の場」と位置づける。学業とスポーツ活動を教育的に融和させて学生の成長を促し、主体的に考えて行動できる「知・徳・体」の調和のとれた人物を育成する。2019年に制定された「同志社大学スポーツ憲章」の一文です。現在、同志社のスポーツは、学生たちの知性・精神と肉体を鍛え上げると共に、観る人を昂らせ、教職員・在校生・卒業生、そして過去・現在・未来 同志社の絆をつないでいく架け橋となっています。

1926

加茂川での大学対抗
相撲大会



S FRONTIER

感動をつくる、 同志社の スポーツ力。

パリオリンピック・パラリンピック競技大会の開催が近づいてきました。世界的にも大きな社会的影響力を持つスポーツ。同志社大学は、創設から長年にわたり、体育・スポーツの先進校として、その地位を築いてきました。今号のテーマは、「同志社大学とスポーツ」です。伝統を受け継ぎ、スポーツ文化の創造に寄与する校友、大学の取り組みを紹介します。

トヨタアルパルク東京株式会社 代表取締役社長

はやし く に ひ こ
林 邦彦さん

1988年、同志社大学文学部卒業後、三井物産に入社。ベトナム三井物産副社長から、2012年に三井物産ファシリティーズ（現三井物産フォーサイト）取締役任に。広島東洋カープ、中日ドラゴンズのスポンサーシップ・マーケティング業務などに従事し、2016年から現職。いち早く新しいことにチャレンジし、クラブの後ろ盾であるトヨタ自動車、三井物産というビッグネームを意識させないで、結果で「すごさ」を醸し出すトップランナーを目指している。学生時代は体育会サッカー部。社会人でも29歳まで関東サッカーリーグでプレーした。

©ALVARK TOKYO



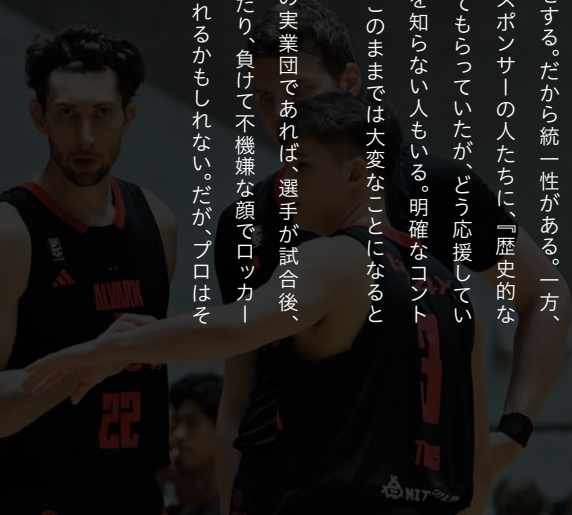
男子プロバスケットボールのBリーグが開幕して8年。林さんは、リーグ誕生と同時に発足したアルパルク東京のトップに就任。観客を集められる「プロ」のチーム作り、熱狂的なファンを増やしてリーグの盛り上げにもつなげていくことが、ようやくできるようになったと実感しているという。だが、商社マンから社長に転身した当初は、バスケットの競技経験や業界人脈もなく、プロスポーツの運営なども初めて。まったくの一からのスタートだった。

思い知らされた、アマとプロの違い

東京・国立代々木第一体育館で行われた、Bリーグの記念すべき開幕第一戦は、アルパルク東京対琉球ゴールデンキングス。林さんは、ここでいきなり、アマチュアとプロの違いとは何かを突き付けられた。

Bリーグは、プロと実業団のチームが混在したNBLと、完全プロのbjリーグの二つが統合して誕生した。元実業団のアルパルク東京はNBL、琉球はbjリーグでプロとして活躍していた。「琉球はファンを大切にしている、ファン独自で作り上げた応援をする。だから統一性がある。一方、我が方はトヨタ社員やスポンサーの人たちに、『歴史的な一戦だから』と言って来てもらっていたが、どう応援していいかわからない。バスケットを知らない人もいる。明確なコントラストが出てしまった。このままでは大変なことになると思いました」

勝つことだけが目標の実業団であれば、選手が試合後、ファンに手も振らなかったり、負けて不機嫌な顔で口ッカー室に帰ったりしても許されるかもしれない。だが、プロはそ



©ALVARK TOKYO

THE SPORTS



アルバルク東京は、1948年創部のトヨタ自動車男子バスケットボール部(実業団)を母体に、2016年に発足した。1部リーグ(B1)で、2023-24シーズンまでに2度の優勝を果たすなど、Bリーグ38チーム(B1、B2合わせて)の中で最上位の一角を占め続けている。

うはいかない。「プロ選手には何が求められるのか。どんな責任があるのか。年俸の源泉はどこにあるのか。まず、それを認識してもらうところから始めました」。ファン感謝イベントやスポンサーパーティーの前に、必ず選手に話をする機会を設けた。来ていただいている人たちが認めてくれないと年俸は上がらない。アルバルク東京を応援したいと思ってもらうためにはどうすべきか。それを考えて、自分売り込んでくださいと話す。これは今も続けている。

**自分で考えて動き、責任も持つ。
その意識を根付かせるためには**

クラブ発足の翌年、ホームの代々木第二体育館が、東京五輪に向けた改修のため使えなくなり、東京西部の立川への移転を余儀なくされ、集客や地元へのプロモーションも最初からやり直さざるを得なくなった。

まず、人を集めないといけない。そのためには、チームを知ってもらう必要がある。「これは優勝するしかないと思いましたが、優勝すればメディアの露出度も上がる。発足2、3年目は、お客さんには申し訳ないが、優勝するためにどうするかしか考えていませんでした」。資金も潤沢ではなく、大きな施策は打てなかったが、チームは2017-18、2018-19と2シーズン続けてリーグ優勝を果たした。

知名度が上がり、少しずつ観客が増え始めてきたところで、代々木に戻ることにした。だが、今度は第二体育館ではなく、収容人数が1万人を超える代々木第一体育館をホームにすることに。リーグの規定でホームアリーナは5000席以上必要とされていたからだ。「平均来場者が



©ALVARK TOKYO

結すれば高い目標も成し遂げられるのだという意識がうまれた瞬間であった。

すると、2年目の昨シーズン、早くも平均入場者が6千人を超えた。「目標を達成すると、社員の目線が上がるんです。6千人分、発券できていないといけない時期に5千枚しか売れていなかったら、以前なら『すごい』と思ったかもしれないけど、今は『大丈夫か』と危機感を抱くようになった」。意識の変化は相乗効果を生み、2023―24の今シーズンは30試合中、26試合が前売りで完売。ホーム開幕戦から2日連続で入場者1万人超えのリーグ最高記録を作った。

林さんは、「みんな、自己実現のためにやっているんです。これが非常に大きい。自分でアイデアを出し、実行する。やっている本人が楽しくなると、やらされている感がなくなる。責任も評価も併せ持つ体制と意識をどう根付かせるかが、会社として非常に重要だと痛感した2年間でした」と振り返る。

「緩みない時間の流れ」のなかに感動を作る

バスケットの試合は1クォーター10分、ハーフタイムにはチャリダーが会場を盛り上げ、観客を一時も飽きさせない。「バスケットには日本人の好きな要素がある。得点がたくさん入る、一発逆転がある、最後までハラハラできる、の3つ。プロスポーツは、試合の『緩みない時間の流れ』のなかに、

感動できる雰囲気を作らないといけない」。ノリのいいBGMや場内アナウンスもその一つだ。

さらに林さんは「メインディッシュ」である試合だけではなく、飲食やグッズ、イベントといった「サイドディッシュ」も美味しくあるべきだと考えている。「負けてもファンが喜んでくれるためにどうするかを考えることが重要なんです」。スポーツは完璧な準備をしても必ず勝てる保証はない。その極めて不安定な要素に会社の運命をすべてかける訳にはいかない。ビジネス面からも、「勝つことプラスアルファでサービスを作り上げる」ことが必要だという。



©ALVARK TOKYO

夢であり目標だった自前のアリーナを、可能性を秘めたエンターテインメントの場に

2025年秋、東京・お台場にクラブの新しいホームとなる「トヨタアリーナ東京」が誕生する。約1万人収容可能と

©ALVARK TOKYO

なる。この次世代アリーナを、アルバルクがクラブと一体で運営する。海の見えるテラス、子どもが遊べるファミリエリア、自由に使える屋外コートなど、来場者はいろいろな過ごし方が楽しめる。土地を所有するトヨタ自動車も最新のモビリティ技術を活用したサービスを提供する。

「日本のプロスポーツに、クラブスポンサーをつけるという考え方がなかったころ、三井物産の社員がアメリカからスポンサーシップ・マーケティングのビジネスモデルを持ってきて、広島東洋カープと共に実現したのがマツダスタジアム。その後、現場で担当していたのが、私のいた三井物産フオーサイトでした」。スポーツバーや外野の寝そべりエリア、観戦しながらのバーベキューなど、球団と協賛社が、球場を「ボールパーク」に変えていく。観客の自由度が高まるほど、来場者が増えていくのを目の当たりにした。



©ALVARK TOKYO

借り物のアリーナは自由度が下がる。ファンイベントをやりたいくても大物アーティストのコンサートの予定が入っているかもしれない。会場をチームカラーで染めたいと思っても、持ち込む装置に制限がかかることもある。だから、当初から自前のアリーナを持つことが目標であり、夢でもあったのです。新アリーナでは、サイドディッシュの完成度も高めた総合的なコース料理的なスポーツイベントを提供したいと思っています。アリーナの周囲を含めた湾岸開発計画もあり、地域連携で大きなエンターテインメントの場所にしたいという夢も描いている。

在学学生、大学への願いは「スポーツを強く」

在学中は体育会のサッカー部に所属していた。今はスポーツを見せる立場だが、スポーツをしてきたからこそ思うことがある。個人スポーツであっても1人では成り立たない。競い合う相手がいてこそであり、専門家のサポートも

必要だ。ましてやチームとなれば、なおのこと仲間や周囲との関係は重要だ。「同志社のいいところは、当時世間で言われていたシゴキやいじめ的なことが一切なかったこと。だから、今でも先輩、後輩関係なく仲が良くって、何かあったら助けてくれる」。こうした経験から、学生時代は、人とのつながりを大切にしてほしいと呼び掛ける。

また、キャンパスは、未成年から成年へと精神的にも飛躍的な成長を遂げる若者が触れ合える、小中高校とはまた異なった場だ。コロナ禍などのパンデミック状態でも、その触れ合いの機会をどう提供するかが今後の大学の課題だと考えている。「大学と在学学生には、もうひとつお願いがあります。それは、同志社スポーツを強くしてほしい。外から強い選手を単に連れてくるのではなく、スポーツ健康科学部もあるので、学内でアスリート強化をし、常に白熱した試合でOB・OGも一緒に大いに盛り上がりたいですね」



©ALVARK TOKYO



研究の
Forefront of research
最前線

意識と環境の「バリア」を崩し 誰もがスポーツを楽しめる社会へ

スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科

かわにし まさひろ
河西 正博 助教

立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科博士課程単位取得後退学。修士(社会福祉学)。神戸医療福祉大学助教、びわこ成蹊スポーツ大学専任講師などを経て現職。研究領域は障害者スポーツ論、障害学。2014年アジアパラ競技大会パドミントン日本代表コーチ、日本車椅子バスケットボール大学連盟元常任理事、(一社)日本体育・スポーツ・健康学会アダプテッド・スポーツ科学専門領域評議員、日本アダプテッド体育・スポーツ学会理事。

自分にとつての「当たり前」を
見つめ直して

障がいのあるアスリートがメディアで取り上げられる時によく冠される「障がいを乗り越えて」という言葉には疑問を感じると河西正博助教は言う。

「『障がい』の責任が本人に押し付けられている印象を受けます。障がいのある人がどれだけスポーツをできているのか、スポーツをする際にどんなことがバリア(障壁)になっているのか。パラリンピックへの関心が高まる一方で、障がい者スポーツの実態はまだまだ知られていないと感じています」

障がいのある人がスポーツや運動をする上で、そもそも何が「障がい」となっているのか。現状を把握するため、パラアスリートの活動実態や特別支援学校の体育・スポーツ活動に関わるアンケート調査、障がい当事者へのインタビュー調査などを行っている。ゼミの学生たちに知識を習得させるだけでなく、車いすバスケットボールやボッチャなどの実技、地域のイベントでのボランティア活動など、実体験の機会を多く持たせている。

「障がいのある人とコミュニケーションをとること自体が初めてで戸惑う学生は多いのですが、あえてそうした経験をさせることを大事にしています。スポーツが得意とか好きとか、自分にとって『当たり前』のことに、つまずいたり、できなかつたりする人がいることを知ってほしい。その上で、スポーツって何だろう、障がいって何だろうと掘り下げて考え、自らのスポーツ観や障がい・障がい者観を見つめ直してくれればと思っています」

障がい者スポーツとダイバーシティ

パラリンピックは「障がい者スポーツ」について知る入り口にはなるが、そこで理解が止まってしまうと、そこにアクセシしない、もしくはできない人たちが置き去りになってしまうとの懸念が河西助教にはある。

「障がい者スポーツの世界は、非常に間口が狭くなっています。学校在学中は体育の授業や学校での取り組みがあるけれども、卒業して社会に出ると、スポーツを楽しむ機会が非常に不足しています。パラリンピックのような競技スポーツの世界だけでなく、生涯スポーツの視点も重要であると考えています」

一方で、最近はダイバーシティ（多様性）に配慮し、障がいの有無にかかわらず誰もが運動やスポーツを楽しめることを目指す「インクルーシブスポーツ」の考え方が、障がい者スポーツの世界では広がりつつある。それ自体は歓迎しつつ、



パラリンピックの正式種目「ボッチャ」は、障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめる競技だ

「障がい」「障がい者」という言葉の使用を避けるような風潮には、河西助教は疑問を呈す。

「私があえて『障がい者スポーツ』と表現するのは、障がい者のスポーツを取り巻く環境が先に

述べたようにまだ整っていないからです。『みんな一緒に』が悪いわけではありませんが、例えば障がい者・健常者が共に参加できる一部の車いす競技では、健常者のプレーについていけず、特に障がいの重いプレーヤーが離れ始めているという現実があります。すべての取り組みが『健常者と一緒』ではなく、いろいろな選択肢があっても良いのではないのでしょうか。河西助教が実践的に障がい者スポーツの研究に取り組んできたからこそ、ダイバーシティやインクルージョンを「マジョリティー（多数派）の物差し」で捉えていないか、常に自覚的であろうとしている。

自分の中の「当たり前」を揺さぶれ！

学生時代、肢体不自由の児童にスポーツプログラムを提供するNPOの活動に関わった。自分にとってスポーツは幼い頃から慣

れ親しんできたものだが、障がいのある子どもたちが「体育の授業はほとんど見学していた」と当たり前のように話し、保護者も「うちの子がスポーツをできるとは思っていなかった」と言うのを聞いて、スポーツができるということは「当たり前」ではなかったんだと衝撃を受けた。障がいのある人をスポーツから遠ざけている環境や思い込みというバリアを崩したい。このときの思いが、今に至るまで研究・実践を続ける原動力になっている。

障がいの有無に限らず、国籍や人種、性別や思想など、社会に出れば想像以上に多様な人々と関わっていくことになる。だから学生たちには、どんな道に進むにせよ、自分の殻を破るような体験を在学中にできるだけ積み重ねてほしいと願っている。「スポーツの場面で障がいのある人々を中心として、多様な人々と関わり、さまざまな価値観に触れる。そんな実体験と合わせた学びを積み重ねていき、自分の中の『当たり前』をどんどん揺さぶる経験をしてほしいですね」。





DOSHISHA DNA

【アスリート】

「同じ弓、同じルール だから面白い」 スランプ乗り越え 無心で挑むパリ

軽い気持ちでたまたま始め、趣味で続けていたスポーツが、思いも寄らない出来事をきっかけに「仕事」となり、今夏も日の丸を背負い世界に挑む。パリパラリンピックのアーチェリー男子リカーブ日本代表・上山友裕さんは3大会連続出場。高まる期待の声をよそに、上山さんが見つめる先は、70m離れた的よりはるか遠くにあるようだ。

父の直感で同志社へ

「人生、何が起きるか分かりませんね」。上山さんはさわやかに語る。

中学まで遡る上山さんの同志社人生は、7位入賞を果たしたリオパラリンピックの前年に53歳で他界した父・博和さんの勧めで始まった。「僕の父が何かの集まりに行った時『同志社大学の卒業生の人たちは後輩のことをすごくかわいがっているらしい』という話を聞いて、良い大学だと感じたみたいです」

猛勉強の末、同志社香里中学に進み、ラグビーに打ち込んだ。「めっちゃくちゃ遊んだ（笑）」という同志社香里高校から同志社大学へ。「大学に入ったら何か始めようと思っていた」。友達に連れられアーチェリー部の見学に行き、入部を決めた。京田辺キャンパスの練習場でも、帰路の電車でも、当時のトップ選手だった友人に教えを請い、共に成長した。

社会人1年目の2010年、原因不明の両下肢機能障害を発症、11年

にパラ競技に出場した。趣味で続けていたアーチェリーは「仕事」になりプレッシャーが増した。「国内の試合は勝って当たり前みたいな雰囲気の中、第一入者として結果を出し続けた。」



70m先の的は直径122cm。中心の10点は直径12.2cm

パラアーチェリー選手/パリパラリンピック
アーチェリー男子リカーブ日本代表

上山 友裕さん

1987年生まれ。大阪府東大阪市出身。三菱電機所属。同志社香里中学校・高校、同志社大学商学部卒業。大学でアーチェリーを始めたが卒業後に両下肢機能障害を発症、2011年にパラ競技にも出場した。パラリンピックでは16年のリオデジャネイロ大会で7位入賞、21年の東京大会は1回戦敗退。22年の世界選手権で優勝した。小学校3年生と1年生の2児の父。

パラアーチェリーの弓は一般的なリカーブと、滑車付きで軽い力でも放てるコンパウンドがあるが、上山さんはずっとリカーブを続けている



どん底 引退も考えた

メダル候補として臨んだ東京パラリンピックは、格下選手を相手にまさかの初戦敗退。「5年間かけてきた時間を15分で終わらせてしまうのやつたら割に合わない! もうやめよう」と引退も考えた。だが、周囲の支えと「このままやめたら何か後悔することはないかな」との思いが、再び的に向かわせ、22年の世界選手権で初優勝を飾った。

アーチェリーの魅力について、上山さんは「パラリンピックは障害の内容やレベルで分ける種目が多い中、アーチェリーは全部の障害が一つのメダルを目指して競技する。一般の競技会では、健常者も、車椅子も、口で射る選手も同じ弓、



同じルールで戦えるのがすごく面白い」と語る。「他のいろんなスポーツをやつても、おそらく日本代表になれなかった中、たまたまアーチェリーにいつて、たまたま車椅子が必要な体になったので日本代表つていう経験ができています」。朗らかで前向きなだけでなく、世界一を経験した今も謙虚さと感謝の気持ちを忘れない。

「いろんなスポーツを試してみても、これ面白い、集中できる、楽しんでやれるというものを見つけられれば伸びていくと思います。スポーツだけじゃなく、たくさんのかを子どもや学生のうちからやつてみて、自分の将来を見つけるきっかけにするのは、すごく良いことかなと」

今も 友も 大切に

パリパラリンピックは8月28日に開幕する。上山さんの誕生日だ。特別な思い入れはあるかと尋ねると「世界選手権で金メダルを取った時に感じたのが、試合に対して思い入れをなくするのが大事つていうことなんです」と予想外の答えが返つてきた。「アーチェリーつてメンタルが一番大事なスポーツなので、試合だからとか、メダルが取りたいからつていう気持ちが入るとミスにつながる」

国内トーナメントでは8年間負けなし。優勝した世界選手権をはじめ国際大会でも、好成績の時は集中のあまり試合中の記憶がない。「思い入れをなくす。無心を貫く。東京

パラリンピックの時はそれができていなかった。果たしてパリでできるのか。たぶんできると思つて話!」。無の境地を目指し、コーチや栄養士、メンタルトレーナーなど5人で構成する「チーム上山」と、ギリギリまで努力を重ねる。

上山さんは社会に出てから、かつて父が話してくれたことを「まさに」と感じる人が多いという。来年初立150周年を迎える母校の絆だ。「同志社大学卒業ということで、つながりができるんですね。同志社で盛り上がりますし、その後も気にかけてもらえます」

どん底を感じた時、光の差す方へと導いてくれたのは同志社時代からの友や、周りの支えだった。「在学生の皆さんも、将来の夢に向かって頑張つて、いろいろやっている人が多いと思います。今いる友人だとか、先輩後輩を大切にしたいつてほしいな」





INFORMATION

1

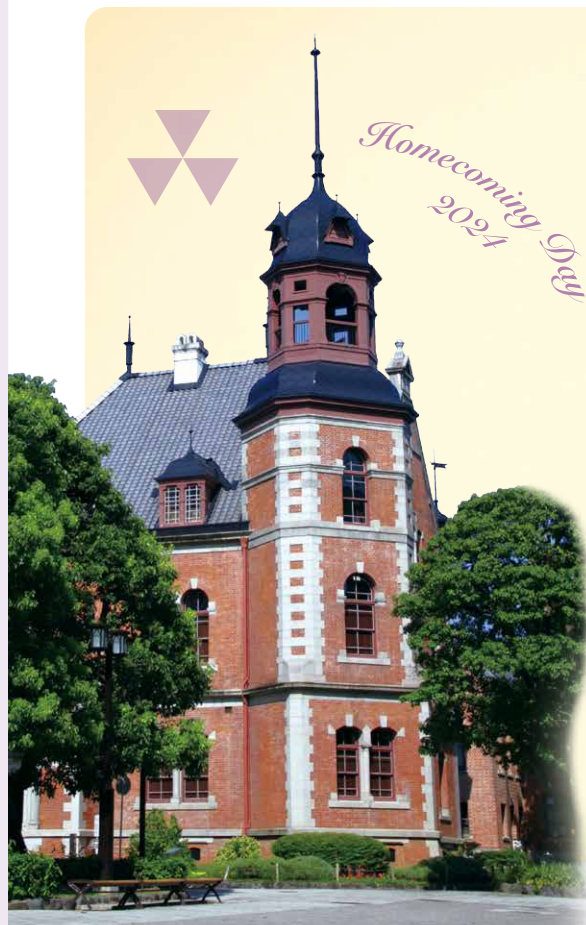
2024 July

同志社創立149周年記念リユニオン 同志社大学ホームカミングデー2024

卒業生のみなさまに、思い出あるキャンパスでお過ごしいただくため、年に1度「同志社創立記念リユニオン」と合同で「ホームカミングデー」を開催しております。

懐かしいご友人や教員と学生時代の思い出話を花を咲かせながら、お互いの近況を語り合ったり、同志社の「今」を感じてみませんか。

ご家族・ご友人とお誘いあわせの上、ぜひお越しください。



- 日時：2024年11月10日(日) 10:00~16:30
 - 会場：同志社大学 今出川キャンパス
 - 対象：卒業生・教職員
 - 主催：学校法人同志社、同志社大学、同志社校友会、同志社同窓会
- ※プログラムなどの詳細については、本ホームページやFacebookで随時お知らせいたします。

「クラス会・同窓会」教室利用申請について

ホームカミングデー当日に、ゼミやサークルの同窓会開催に利用できる教室の貸出予約の受付をしています。

利用を希望される方は、右の【QRコード】からお申し込みください。



同志社大学ホームカミングデー2024
「クラス会・同窓会」教室利用申込フォーム



【URL】
<https://forms.office.com/r/ptq9GpsTnf>



宿泊ホテルの予約について

ホームカミングデー前日11/9(土)、当日11/10(日)に参加者限定で宿泊ホテルをご準備しております。

「ホテル エムズ・エスト四条烏丸」シングル朝食なし
■11/9:16,000円(税込) ■11/10:12,000円(税込)



【URL】詳細は、大学ホームページをご参照ください。
<https://www.doshisha.ac.jp/alumni/homecomingday/index.html>



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

広報部広報課が運用する公式ソーシャルメディアアカウントをご紹介します。
大学公式Webサイトとともに、最新の情報を発信しています！

同志社大学
公式
Facebook



同志社大学
公式
X



同志社大学
公式
YouTube



同志社大学
公式SNS一覧



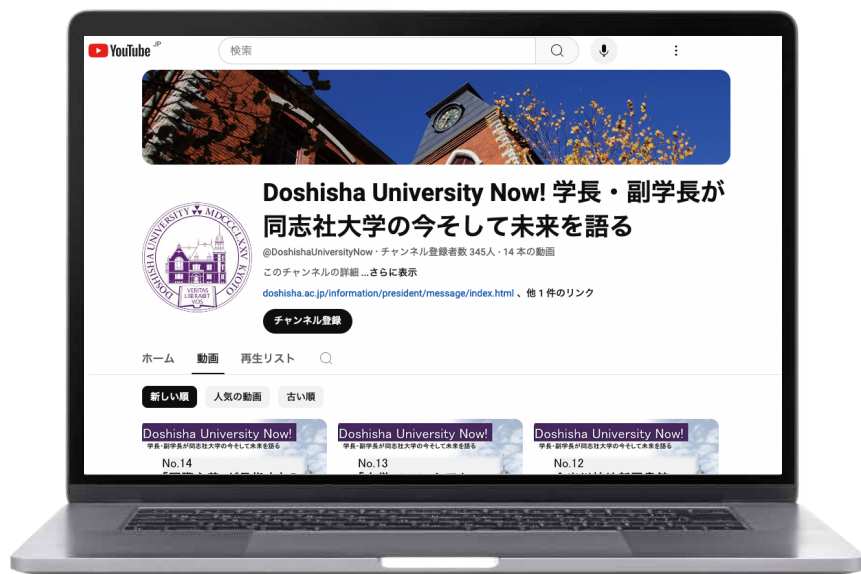
同志社の今を伝えるサウンドメディア、“D”iscoverが2023年8月に始動しました。

教員などによる研究の最前線の紹介・社会への提言、学生生活の魅力、大学のトピックスなどについて発信しています!

Check!



サウンドメディア開設!



新YouTubeチャンネル「Doshisha University Now! 学長・副学長が同志社大学の今そして未来を語る」を2024年5月に開設しました。

コンテンツは随時アップ中です。チャンネル登録をして、本学の最新情報をチェックしましょう!

Check!



新YouTubeチャンネル開設!
ぜひチャンネル登録をお願いします!



2024 July

データでみる同大生の

2023年度 就職状況

2023年度の就職率は99.5%(学部・研究科合計)となり、昨年度に引き続き企業の採用意欲が堅調に推移する中、就職率は高い数字となりました。多くの企業では、競争が一層激化する環境下で、将来のコアとなる人材を確保しようとする厳選採用の姿勢が堅持され、採用基準を緩和せずに、採用予定人数を充足しないまま採用活動を終了する企業もありました。一方、採用基準を緩和した企業の割合が増えました。また、選考応募者が予定より少なかった、内定辞退が想定以上に発生したなどの理由から、採用予定人数を確保できず、夏以降も採用活動を継続する企業も多く、企業の動きは一層多様化しました。このような状況の中で、これまで以上に、変化に柔軟に対応し、自ら考え行動できる自立した学生が求められています。皆さん自身が納得できるキャリアを形成するためには、勉強やサークルなど、今できることに本気で取り組み、充実した大学生活を過ごし、インターンシップやキャリアセンターのプログラムを通して社会の動向や働くことへの理解を深め、早い段階から将来の進路を考えていくことが大切です。

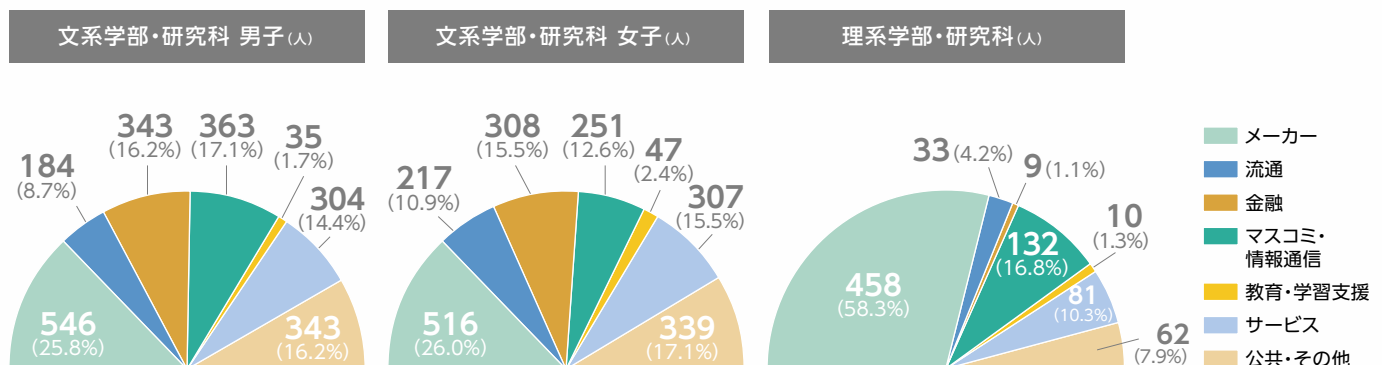
■ 就職者数上位30位 企業・団体名と人数

文系			理系				
国家公務員(一般職)	49	日本電気株式会社	15	ダイキン工業株式会社	22	株式会社小松製作所	5
株式会社京都銀行	37	株式会社日本政策金融公庫	15	株式会社日立製作所	16	株式会社島津製作所	5
株式会社ベイクレント・コンサルティング	36	みずほ証券株式会社	15	パナソニック株式会社	16	積水化学工業株式会社	5
東京海上日動火災保険株式会社	34	株式会社NTTドコモ	14	ローム株式会社	14	ソフトバンク株式会社	5
みずほフィナンシャルグループ	31	京セラ株式会社	14	トヨタ自動車株式会社	13	西日本旅客鉄道株式会社	5
株式会社ニトリ	29	京都府	14	株式会社村田製作所	12	株式会社野村総合研究所	5
りそなグループ	27	阪和興業株式会社	14	京セラ株式会社	11	富士フイルムビジネスソリューション株式会社	5
日本生命保険相互会社	26	三井住友カード株式会社	14	富士通株式会社	11	パナソニック エナジー株式会社	5
三井住友信託銀行株式会社	24	大阪府	13	株式会社NTTデータ	10	パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社	5
株式会社三井住友銀行	23	株式会社JTB	13	三菱電機株式会社	10	株式会社メイテック	5
株式会社村田製作所	23	株式会社SCREENホールディングス	13	株式会社クボタ	8	アクセンチュア株式会社	4
アクセンチュア株式会社	22	西日本電信電話株式会社	13	株式会社デンソー	8	AGC株式会社	4
レバレジーズ株式会社	20	三菱電機株式会社	13	株式会社NTTドコモ	7	株式会社アウトソーシングテクノロジー	4
日本航空株式会社	19	株式会社リクルート	13	関西電力株式会社	7	シャープ株式会社	4
株式会社滋賀銀行	17			日本アイ・ビー・エム株式会社	7	TOPPAN株式会社	4
住友生命保険相互会社	16			パーソルクロステクノロジー株式会社	7	ダイハツ工業株式会社	4
株式会社キーエンス	15			日産自動車株式会社	6	本田技研工業株式会社	4
裁判所職員(一般職・裁判所事務官)	15			パナソニック インダストリー株式会社	6	ヤマハ発動機株式会社	4

※企業・団体名は2024年3月31日現在の名称を記載しています。

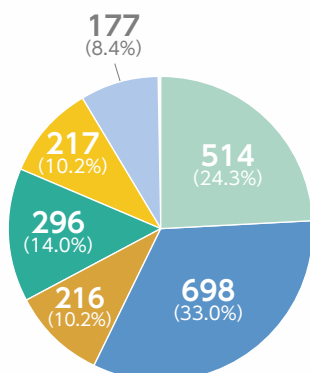
■ 業種別内定状況

※率(%)は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

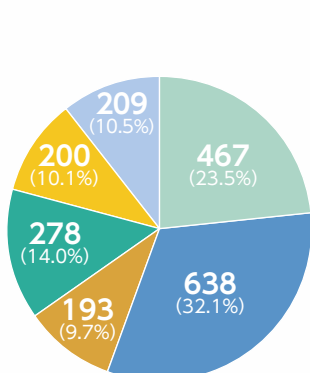


■ 従業員規模別就職状況

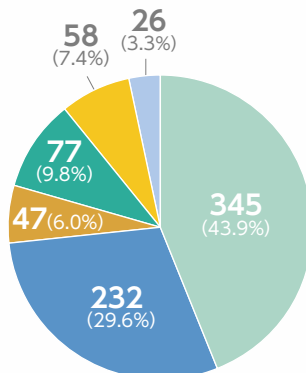
文系学部・研究科 男子(人)



文系学部・研究科 女子(人)



理系学部・研究科(人)



■ 巨大企業 ■ 中企業
■ 大企業A ■ 小企業
■ 大企業B ■ その他

注: 巨大企業=従業員5,000人以上
大企業A=1,000人以上
大企業B=500人以上
中企業=100人以上
小企業=100人未満

※率(%)は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※各種学校、非営利団体、宗教法人、医療・保健、介護事業、公務員などの業種は全てその他に含まれます。

キャリアセンターWebサイトで情報収集できます!

キャリアセンターが開催するプログラム情報や個別相談の利用方法、OB・OG情報の閲覧方法など就職活動に関する情報をお知らせしています。1年次生から参加できるプログラムもあります。就職を考えている方はもちろん、将来を考えるきっかけがほしい方もぜひ利用してください。



[Webサイトに掲載している主な内容]

- キャリアセンター利用案内 ●個別相談利用方法
- OB・OG訪問情報の閲覧方法 ●プログラム案内
- 証明書・履歴書 ●就職統計情報

同志社大学限定の求人情報を見ることができます!

「求人・インターンシップ情報検索サイト」には、企業・団体から届いたインターンシップや求人の情報を掲載しています。情報検索時に「募集校限定求人」の条件を設定することで、「特に同志社大学の学生を採用したい」と考えている企業の求人情報を見ることができます。ぜひご利用ください。



求人・インターンシップ
情報検索サイト

個別相談(予約制)を利用しよう!

「予約制」、「就職相談」と身構えずに気軽に利用を

キャリアコンサルタントの資格を持つアドバイザーや同志社大学職員に、自身のキャリアやインターンシップ、就職に関する相談をすることができます。1年次生から利用可能です。「就職活動の流れが知りたい」、「自分の強みが分からない」といった相談もOKです。気軽な気持ちで利用してください。

予約方法等の詳細はキャリアセンターWebサイトの「個別相談の利用」でお知らせしています。

キャリアセンター 年間プログラム

スタートは3年次生の春から!

キャリアセンターの支援プログラムが本格的に始まるのは3年次生の春からです。コアプログラムは「ガイダンス(就活戦略を立てる)」・「セミナー(業界研究・選考対策)」・「ワークショップ(本番に向け少人数で実践)」を1セットとし、どの時期から就職活動を始めても対応できるように年間3セット実施します。それらのプログラム以外に、公務員志望者向けのプログラムや、内定を持つ先輩学生との交流会などを開催しています。就職活動は、学業や部活動といかに両立させるかがポイントです。自身のスケジュールとキャリアセンターのプログラム日程を確認しながら、計画的に進めましょう!

2026年春採用に向けた主な支援プログラム(3年次生・大学院1年次生対象)

	2024年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月	4月
	サマーインターン					オースタム&ウィンターインターン								
ガイダンス	●キャリアガイダンス					●就職ガイダンス					●就職ガイダンス			
セミナー	●自己分析セミナー ●エントリーシートセミナー ●動画エントリーシート・Web面接セミナー ●面接セミナー ●グループディスカッションセミナー ●インターンシップ攻略セミナー					●自己分析セミナー ●エントリーシートセミナー ●面接セミナー ●グループディスカッションセミナー					●自己分析セミナー ●エントリーシートセミナー ●面接セミナー			
ワークショップ(実践講座)	●エントリーシートワークショップ ●面接ワークショップ ●グループディスカッションワークショップ					●エントリーシートワークショップ ●面接ワークショップ ●グループディスカッションワークショップ					●エントリーシートワークショップ ●面接ワークショップ ●グループディスカッションワークショップ			
仕事研究	●仕事研究セミナー ●業界研究セミナー ●インターンシップ等に向けての企業セミナー					●仕事研究セミナー ●業界研究セミナー ●企業セミナー					●仕事研究セミナー ●学内企業説明会			
その他	●筆記試験対策セミナー ●学内公務員講座ガイダンス・個別相談会 ●U・Iターンセミナー・都道府県別相談会 ●OB・OG交流会 ●内定を持つ先輩との座談会 ●理系対象就職ガイダンス ●障がい学生対象就職ガイダンス ●留学生対象就職ガイダンス					●筆記試験対策セミナー ●公務員・公立学校教員業務説明会 ●内定を持つ先輩との座談会					●筆記試験対策セミナー ●公務員・公立学校教員採用説明会 ●内定を持つ先輩との座談会			
	1クール目 サマーインターンに向けた準備					2クール目 オースタム&ウィンターインターンに向けた準備					3クール目 本選考に向けた準備			

個別相談(予約制) ※相談方法は対面・Web・電話から選択できます

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	32,454,690	33,349,254	△ 894,564
教育活動収支	事業活動収入の部	手数料	1,662,800	1,806,435	△ 143,635
		寄付金	310,800	545,961	△ 235,161
		経常費等補助金	3,599,590	4,178,464	△ 578,874
		付随事業収入	968,270	1,298,935	△ 330,665
		雑収入	1,213,820	1,193,124	20,696
		繰出金(教育活動)	0	240	△ 240
		分担金	185,850	184,090	1,760
		教育活動収入計	40,395,820	42,556,503	△ 2,160,683
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	21,525,080	21,357,018	168,062
		教育研究経費	16,005,240	17,154,526	△ 1,149,286
		管理経費	1,960,580	1,910,704	49,876
		徴収不能額等	15,680	35,807	△ 20,127
		繰入金(教育活動)	0	12,608	△ 12,608
		教育活動支出計	39,506,580	40,470,663	△ 964,083
		教育活動収支差額	889,240	2,085,840	△ 1,196,600
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	221,410	393,025	△ 171,615
		その他の教育活動外収入	440	0	440
		繰出金(その他)	4,570	4,328	242
		教育活動外収入計	226,420	397,353	△ 170,933
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		繰入金(その他)	0	136	△ 136
		教育活動外支出計	0	136	△ 136
		教育活動外収支差額	226,420	397,217	△ 170,797
		経常収支差額	1,115,660	2,483,057	△ 1,367,397

特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
特別収支	事業活動収入の部	その他の特別収入	200,000	296,664	△ 96,664
		繰出金(施設設備)	220,000	220,000	0
		特別収入計	420,000	516,664	△ 96,664
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	168,610	219,432	△ 50,822
		その他の特別支出	0	131,143	△ 131,143
		繰入金(施設設備)	0	0	0
		特別支出計	168,610	350,575	△ 181,965
		特別収支差額	251,390	166,089	85,301
		予備費	250,000	250,000	0
		基本金組入前当年度収支差額	1,117,050	2,649,146	△ 1,532,096
		基本金組入額合計	△ 2,169,600	△ 2,136,900	△ 32,700
(参考)	事業活動収入の部	当年度収支差額	△ 1,052,550	512,246	△ 1,564,796
		支出準備金取崩額	430,900	1,007,020	△ 576,120
		支出準備金繰入額	△ 620,970	△ 1,302,006	681,036
		基本金取崩額	594,890	1,901,577	△ 1,306,687
		調整後当年度収支差額	△ 647,730	2,118,837	△ 2,766,567
		前年度繰越収支差額	△ 27,930,930	△ 27,930,927	△ 3
		翌年度繰越収支差額	△ 28,578,660	△ 25,812,090	△ 2,766,570
		事業活動収入計	41,042,240	43,470,520	△ 2,428,280
		事業活動支出計	39,925,190	40,821,374	△ 896,184

2024年度

大学予算について

2024年度大学予算は、3月7日開催の予算委員会および大学評議会、3月30日開催の法人評議会、理事会で承認、決定されました。
主な事業は以下の通りで、詳細な予算額については2024年度事業活動収支予算書の通りです。

教育研究の充実
教室等マルチメディア環境整備
ALA科目群GRMコースの実施
Comm 5.0 副専攻プログラムの実施
社会連携推進と大学院生へのキャリア形成支援

学生生活支援の充実
多目的スペースのオンライン交流・講習環境整備
東京オフィス面談ブースの設置

企画広報・管理運営
Webサイトリニューアル
教務システム改修
卒業生情報管理システム(DOOネット)改修

建設事業
今出川新図書館建設事業 改築等工事
京田辺キャンパスリニューアル事業 教室他改修工事
スポーツ・コンプレックス事業 建設工事
空調設備等整備工事 今出川校地各所空調機改修工事
京田辺校地各所空調機改修工事

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算	前年度予算	増減
		学生生徒等納付金	33,643,040	32,454,690	1,188,350
教育活動収支	事業活動収入の部	手数料	1,711,550	1,662,800	48,750
		寄付金	310,630	310,800	△ 170
		経常費等補助金	3,658,030	3,599,590	58,440
		付随事業収入	921,350	968,270	△ 46,920
		雑収入	911,810	1,213,820	△ 302,010
		繰出金(教育活動)	0	0	0
		分担金	195,880	185,850	10,030
		教育活動収入計	41,352,290	40,395,820	956,470
	事業活動支出の部	科目	予算	前年度予算	増減
		人件費	21,488,890	21,525,080	△ 36,190
		教育研究経費	16,262,760	16,005,240	257,520
		管理経費	1,826,320	1,960,580	△ 134,260
		徴収不能額等	15,680	15,680	0
		繰入金(教育活動)	0	0	0
		教育活動支出計	39,593,650	39,506,580	87,070
		教育活動収支差額	1,758,640	889,240	869,400
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	前年度予算	増減
		受取利息・配当金	307,660	221,410	86,250
		その他の教育活動外収入	440	440	0
		繰出金(その他)	3,860	4,570	△ 710
		教育活動外収入計	311,960	226,420	85,540
	事業活動支出の部	科目	予算	前年度予算	増減
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		繰入金(その他)	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	311,960	226,420	85,540
		経常収支差額	2,070,600	1,115,660	954,940

特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	前年度予算	増減
		資産売却差額	0	0	0
特別収支	事業活動収入の部	その他の特別収入	200,000	200,000	0
		繰出金(施設設備)	220,000	220,000	0
		特別収入計	420,000	420,000	0
	事業活動支出の部	科目	予算	前年度予算	増減
		資産処分差額	3,700	168,610	△ 164,910
		その他の特別支出	0	0	0
		繰入金(施設設備)	0	0	0
		特別支出計	3,700	168,610	△ 164,910
		特別収支差額	416,300	251,390	164,910
		予備費	260,000	250,000	10,000
		基本金組入前当年度収支差額	2,226,900	1,117,050	1,109,850
(参考)	事業活動収入の部	基本金組入額合計	△ 2,397,170	△ 2,169,600	△ 227,570
		当年度収支差額	△ 170,270	△ 1,052,550	882,280
		支出準備金取崩額	477,640	430,900	46,740
		支出準備金繰入額	△ 813,680	△ 620,970	△ 192,710
		基本金取崩額	0	594,890	△ 594,890
		調整後当年度収支差額	△ 506,310	△ 647,730	141,420
		前年度繰越収支差額	△ 25,812,090	△ 27,930,930	2,118,840
		翌年度繰越収支差額	△ 26,318,400	△ 28,578,660	2,260,260
		事業活動収入計	42,084,250	41,042,240	1,042,010
		事業活動支出計	39,857,350	39,925,190	△ 67,840

2023年度大学決算は、2024年5月9日開催の大学予算委員会および大学評議会、5月25日開催の法人理事会で承認されました。

2023年度は、施設設備整備について、今出川校地においては、新図書館改築等工事および早急に対応する必要がある各建物の耐震化対策の一環としての寧静館および新創館の改築工事を実施しました。また、京田辺校地においては、スポーツ・コンプレックス建設工事、トイレ改修工事や体育施設整備を実施し、学生生活のアメニティ向上を図りました。

教学面では、教務システム(DUET)、シラバスシステム、証明書発行システム、LMS(e-class)といった教学運営に必要となるシステムの全体最適化を図り、今後の運用や更新を統合的に行う検討を開始しました。

2018年度から進めている「ALL DOSHISHA教育推進プログラム」では、学部および研究科が提案する質の高い教育プログラムから得られたさまざまな教育効果を改めて分析・共有し、本学の教育研究力の向上に役立て、次代の人物を養成するプログラムの新たな構築を進めています。

また、2022年度から開始している「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(DDASH)」では、応用基礎レベル(DDASH-A)の認定受審の準備を終え、学部専門科目との組み合わせによる副専攻プログラムにより、学生をエキスパートへいざなう学習体系を整備しました。

さらに、良心教育を基軸とする4つの科目群(同志社科目群、基礎学術科目群、クリエイティブ科目群、グローバル教養科目群)と10の科目区分に再分類する具体策を掲げ、分類毎に到達目標を設定し、全学共通教養教育科目の充実を図りました。

研究面では、研究センターを核とした国際連携による研究の飛躍的な発展、研究活動を通じた若手研究者の育成、次世代の研究者を養成する教育プログラムの開発に取り組む研究プロジェクトを推進する事業を創設し、学内公募の結果、「IoT研究プロジェクト」を採択。さまざまなモノがネットワークで接続され、相互に情報を交換し、協調して制御する仕組みであるモノのインターネット(IoT: Internet of Things)の研究を推進しました。また、研究者のライフイベントやワーク・ライフ・バランスに配慮し、教員が妊娠や育児で研究活動が難しい場合、助成金を受けてリサーチ・アシスタント等を雇用することにより、研究を継続できるようサポートする「リサーチライフ支援助成事業」を開始しました。

学生支援面では、スチューデントダイバーシティアクセシビリティ支援室(SDA室)において、両校地のバリアフリー、点字ブロック調査を実施、さらに学生に対する性の多様性に関する調査や、性の多様性に対応したトイレ表示のあり方を検討しました。また、学生生活全般に対応するAIによるチャットボット相談ページを運営し、カウンセリング体制の充実を図る取

り組みを実施しました。

そのほか、「同志社大学ビジョン2025」を推進すべく、「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」を継続して実施しました。この募金は、ビジョンに掲げる事業推進をはじめ、奨学事業、課外活動支援、施設設備整備等幅広い事業を対象としており、本学に関わる全てのステークホルダーに本学の教育・研究活動のさらなる充実・発展に向けての支援をお願いするもので、2025年末まで継続的に実施する予定です。

以上の通り、2023年度もこれまで同様、教育、研究、学生支援、施設設備整備の各方面にわたり、必要となる財政的支援を重点的かつ効果的に行いました。収入面では、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入の増収により、予算よりも大幅な増収となり、支出面においては、建設事業費の予算計上後の勘定科目変更等により予算と比較してやや増加しました。

以下、事業活動収支計算書に基づき主な収支の内容について説明します。

用語解説

■ 事業活動収支計算書

学校法人会計基準において学校法人に作成が求められている計算書類の一つで、当該年度の事業活動における収入と支出の内容とその均衡状況を表すものです。

■ 事業活動収入

事業活動収支計算書の教育活動収支・教育活動外収支・特別収支の収入の部を合計したものです。当該年度の収入のうち、学校法人の負債とならない収入をいいます。したがって借入金、前受金、預り金などは含まれません。

■ 事業活動支出

事業活動収支計算書の教育活動収支・教育活動外収支・特別収支の支出の部と予備費を合計したものです。人件費、物件費、減価償却額など、当該年度に消費する支出です。

■ 基本金

基本金は、学校法人の活動計画に基づき必要となる資産を事業活動収入から組入れて継続的に保持するもので、自己資金により取得した固定資産の価額に対応する第1号基本金、将来取得する固定資産に充てるための第2号基本金、運用果実により教育研究活動を進めるための基金である第3号基本金、恒常的に保持すべき運転資金である第4号基本金から成ります。事業活動収支計算書では、当年度に組入れる額が「基本金組入額合計」で表示されています。

I. 教育活動収支

学生生徒等納付金は333億円で、事業活動収入に占める割合は約77%と大きな比重を占めています。

手数料は18億円で入学検定料が主なものです。

寄付金は5億円で、同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金、研究助成への奨学寄付金、寄付教育研究プロジェクトなど教育研究活動への寄付金を受入れました。

経常費等補助金は42億円で、国庫補助金が主なものです。この大部分を占めるのが私立大学等経常費補助金で、一般補助25億円、特別補助3億円を受入れた他、授業料等減免費交付金として12億円を受入れています。その他の国庫補助金では、博士後期課程学生による挑戦的・融合的な研究を支援し、優秀な博士人材の育成、能力開発を目的とした次世代研究者挑戦的研究プログラム助成金などを受入れました。

付随事業収入は13億円で、企業からの共同研究費・受託研究費などの受託事業収入、学生寮の寮費などの補助活動収入が主なものです。

雑収入は12億円で、私立大学退職金財団からの交付金収入や施設設備利用料収入が主なものです。

分担金は2億円で、法人業務に係る法人内各学校の負担分です。

教育活動収入計は426億円で、予算に対して22億円の増額となりました。

人件費は214億円で、事業活動収入に対して約49%となりました。

教育研究経費は172億円で、経常的な教育研究活動に要した経費です。

管理経費は19億円で、大学の維持管理に要した経費です。

その他の支出を加えた**教育活動支出計**は405億円となり、予算に対して10億円の増加となりました。

学校法人の本業である教育研究事業の収支である、**教育活動収支**は、21億円の収入超過です。

II. 教育活動外収支

教育活動外収支は、主に財務活動の収支区分で、受取利息・配当金の計上等により、4億円の収入超過です。

教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合わせた**経常収支**は25億円の収入超過です。

III. 特別収支

特別収支は、特殊な要因によって一時的に発生した臨時的な事業活動収入及び事業活動支出で、2億円の収入超過です。施設設備に係る寄付金および補助金、現物寄付、法人内資金調達に係る返済額、本年度除却の固定資産に係る資産処分差額並びに過年度修正額が該当します。

IV. 基本金組入額および収支差額

基本金組入前当年度収支差額は26億円の収入超過となります。

基本金組入額は学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れる額で、21億円を組み入れます。今後の資産取得に向けての第2号基本金の組み入れが主なものです。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した**当年度収支差額**は5億円の収入超過となります。

支出準備金取崩額は10億円で、使途が特定された準備金の取崩額などです。

支出準備金繰入額は13億円で、使途特定寄付金、研究費および大規模建設事業などの予算繰越額を決算において繰り入れたものです。

基本金取崩額は19億円で、固定資産取得価額を上回る除却分です。

当年度収支差額に支出準備金取崩、繰入、基本金取崩額を加えた**調整後当年度収支差額**は、21億円の収入超過となります。

なお、**累積収支差額**として258億円の支出超過額を翌年度に繰り越すこととなります。



2024 July

「ゼミで学ぶ 魅力を語る」

幅広い領域の専攻から数多くのゼミがある本学。

それぞれ、どんなことを学んでいるのか。

ゼミ教員が、個性豊かなゼミの魅力を語ります。

「生み出すこと」の面白さ!!

私のゼミは、昨年度から経済学部で「社会科学における情報システム」を探究する情報系のゼミとして始まりました。伝統的な人気ゼミが多くある中で、学生が集まるか心配しましたが、28名の1期生(3・2年次)が来てくれました。

ゼミでは、JavaScript、Pythonなどの基本的なプログラミング言語を習得し、Webサイトの構築、グループで教育コンテンツやアプリケーションの開発に取り組んでいます。昨年度は、京都府が抱える課題「子育て」を支援する目的で、小学校におけるタブレット端末を使った情報教育の問題点について提言し、京都府、綾部市、京都府商工労働観光部ものづくり振興課と共催で小中学生向けに「大学生が教えるプログラミングとリテラシー教室」を5回開催しました。

この時、ゼミ生と一緒に「英小文字付キーボード」「マイコンを動かすPythonプログラム」「子ども

向けプログラミングテキスト」を開発しました。地味な成果物ですが、今の日本の情報教育に足りないものを私たちが作り、社会で実践することができました。府知事をはじめとする府庁関係者、ご参加いただいた親御様には、大変喜んでいただき、ゼミ生とは、課題解決に向けて新しい市場やコンテンツを生み出す面白さを共有しました。

ゼミ活動で大切にしていることは、最近、大学の「第三の使命」と言われている社会貢献に携わることで、「座学の学びを社会に還元する」「メンバー全員で取り組む」です。最近、ゼミ選択をしない人、グループワークが苦手な人が増えていますが、ゼミは大学の醍醐味です。社会に出る最後の教育機関・組織で「ともに生きて・ともに学ぶ」を越え、知見を活かして共創することの楽しさを学んでほしいと思っています。



経済学部
准教授

のりくも しゅんえい
法雲 俊栄 ゼミ

Shunei Norikumo

伝統文化と市場の融和

私の専門は社会経済思想史で、特に市場社会を支える倫理的基盤は何かということを探究してきました。今日、経済的なグローバル化とともに市場原理が我々の生活の奥深くにも浸潤し、ヴァナキュラー(土着的)な伝統文化や共同体が急速に衰退させられています。紆余曲折しながらも深化していくグローバル化と、ヴァナキュラーなものとの共存をいかにして実現していくかということは重要な課題であると思います。私の現在のゼミでは、京都という土地柄を活かして、グローバルな市場で戦っている地域の老舗伝統工芸品メーカー様にご協力いただき、伝統文化を大切にしつつ、グローバルな経済活動を展開するにはどうすればよいのかということを、チームで真剣に、長期間にわたってじっくり研究しています。その研究成果は、経験豊富な経営者の方々の前でゼミ生自身によって報告され、多くのフィード

バックを受けます。実践的かつ多角的なコメントを聞くことで、いろいろな気づきをゼミ生も与えられているようです。私は時々サポートしたりしますが、ゼミ運営の基本的なところは学生の主体性に任せています。このゼミ活動を通じて、日本の伝統文化の大切さや奥深さを理解しつつ、他の伝統文化も尊重できるような、真の意味でのグローバルに活躍できる人材になってほしいと切に願っています。

ゼミ生の声(植野百音さん)

京都の老舗企業に対して、課題発見とその解決策を提案する活動があり、自らの思考力や提案力を身に付けられました。その後の就職活動において、これらは社会に出て最も求められる能力であると実感し、ゼミで学ぶことができて非常に良かったと感じています。



商学部
教授

こじま ひでのぶ
小島 秀信 ゼミ

Hidenobu Kojima

Seminars

learning objects of

「感覚＋知識」に基づく アウトプットを



生命医科学部
教授

やまもと こうじ
山本 浩司 ゼミ

Koji Yamamoto

バイオマテリアル研究室では、生体材料の開発や再生医療を目指した培養装置の開発に加え、メカニカルストレスと細胞応答の関係や、培養組織の力学的機能が発現するメカニズムの解明など、「医工学」領域の研究に取り組んでいます。扱う組織も軟骨、心筋、肝臓、骨格筋、骨など多岐にわたっており、材料・機械設計から遺伝子工学まで領域横断的に学ぶことができます。

学部3年の11月頃に研究室に配属され、そこから数カ月かけて研究テーマを決めていきます。当研究室では学部4年の卒業研究から一人1テーマをモットーとしており、早い段階から自律的に考えてチャレンジし、失敗・成功を含めフィードバックを介して成長するサイクルを大切にしています。特に、最前線で

実験に取り組む学生の感覚こそ真実を捉えている可能性が高いため、できるだけその体験・感覚をアウトプットできる機会を設けています。研究グループのゼミ以外にも、学生とweb上でカレンダーを共有し、個人ディスカッションも時間の許す限り自由に予約できるようにしています。学生の熱量あるアウトプットを聞くのは私の楽しみの一つでもあります。

また、一方通行の研究にならないよう他大学や企業との共同研究も積極的に行っています。入り口となる基礎研究と出口となる臨床・開発研究の経験を通して、医と工の垣根を越えて社会が直面する課題解決に貢献できる人材になって欲しいと思います。

「コーチング」最適解探し」の ための学びを



スポーツ健康科学部
准教授

まつくら けいた
松倉 啓太 ゼミ

Keita Matsukura

私たちのゼミでは、スポーツ指導者としての基本的な考え方を理解し、指導者に求められる働きや必要な知識・技能について深く学びます。具体的には、スポーツ指導者として求められる価値観や役割、考え方について触れ、スポーツにおけるスキル獲得の理論や指導法を習得し、トレーニングメニューの計画、コーチング実践、振り返りを通じて学習を深めていきます。

しかし、学生さんはまだ現役の選手として活動していることが多いため、なかなか指導者の立場を経験する機会に触れることがありません。そのため、実際の現場や立場に立った経験をイメージさせることが重要です。

さらに、コーチングにおいては対象や状況（コーチングコンテクスト）に応じて最適なコーチングの方法が異なってきます。従ってゼミの中でも唯一絶対の答えを求めめるのではなく、「コーチングの最適解はコンテクスト次第」という考え方を常に持ってもらい、実践的な視点を大切に行います。そのため、ゼミの特長として何枚ものホワイトボードと大量の付せんを用いながらディスカッションやブレインストーミングを行い、さまざまな立場からの意見を踏まえた学びができるよう取り組んでいます。



INFORMATION

5

2024 July

本学教員の 執筆図書紹介

(価格は税込み)

漢字文化事典

中西裕樹 他著 丸善出版 22,000円

民事訴訟法 第4版

林昭一 他著 有斐閣 3,080円

中国美術史の眺望

河野道房 他著 汲古書院 9,350円

福祉社会学文献ガイド

畑本裕介 他著 学文社 3,850円

保健医療福祉計画とは何か

真山達志 他著 法律文化社 3,630円

EV用電池の安全性向上、 高容量化と劣化抑制技術

土井貴之 稲葉稔 他著
技術情報協会 88,000円

核不拡散と核軍縮の国際法

浅田正彦 著 有斐閣 5,280円

日本の寄付を科学する

瓜生原葉子 他著 明石書店 2,750円

力学系と大域幾何

浅岡正幸 他著 朝倉書店 6,050円

国際人権法の理論

新井京 他著 信山社 6,380円

ジェンダー視点で読み解く 重要判例40

池田直人 他著 日本加除出版 6,160円

労働法概説 第5版

土田道夫 著 弘文堂 3,850円

労働法の正義を求めて

土田道夫 他著 日本評論社 14,300円

ケアの倫理

岡野八代 著 岩波書店 1,364円

解説 民法・不動産登記法 (所有者不明土地関係) 改正のポイント

佐久間毅 他編著 有斐閣 3,960円

家族社会学事典

岡野八代 他著 丸善出版 26,400円

図録 法学入門

池田直人 他著 弘文堂 2,750円

経済安全保障の深層

兼原信克 他編著
日経BP日本経済新聞出版 3,300円

憲法訴訟の実務と学説

御幸聖樹 他著 日本評論社 6,160円

スタートダッシュ経済学 第2版

内藤徹 他著 勁草書房 2,420円

基礎社会学講義

小林久高 著 学文社 3,080円

外交と戦略

村田晃嗣 編 村田晃嗣 寺田貴 他著
彩流社 4,180円

SDGs無機化学の基礎

人見穰 他著 培風館 3,960円

エッセンシャルワーカー

三山雅子 他著 旬報社 2,750円

条解

行政情報関連三法 第2版

横田光平 他著 弘文堂 18,700円

関西フォークとその時代

瀬崎圭二 著 青弓社 3,080円

情報・通信・メディアの 歴史を考える

石井香江 他編著 山川出版社
1,980円

ケアリングの視座

新茂之 他著 晃洋書房 2,970円

CFRPリサイクル・ 再利用の最新動向

大窪和也 他著 エヌ・ティー・エス
55,000円

ひと目でわかる

政治のしくみとはたらき図鑑

吉田徹 監修 創元社 3,960円

あなたの知らない研究 グレーの世界

佐藤翔 他著 中外医学社
3,080円

電池の回収・リユース・ リサイクルの動向および そのための評価・診断・認証

長岡直人 他著 シーエムシー・リサーチ
99,000円

グローバル金融資本主義の危機

服部茂幸 著 晃洋書房 4,180円

類型論から見た「語」の本質

沈力 編 沈力 星英仁 他著
ひつじ書房 7,480円

認知意味論を目指して II

菊田千春 他監訳 開拓社 4,620円

日本人のための安全保障入門

兼原信克 著
日経BP日本経済新聞出版 2,420円

アンケート調査とAHPデータ分析

法雲俊栄 著 オーム社 2,750円

ドイツ国民の境界

穂山洋子 他著 山川出版社 6,050円

ブルックリン化する世界

森千香子 著 東京大学出版会
3,520円

Joseph Hardy Neesima and the Doshisha Spirit

小原克博 林田明 他著
Center for the Study of Conscience,
Doshisha University

アルゴリズムと データサイエンス

土屋誠司 編 創元社 2,750円

情報通信ネットワークと データベース

土屋誠司 編 創元社 2,750円

バルカンの政治

月村太郎 著 東京大学出版会
5,720円

修験道の文化史

源健一郎 他著 岩田書院 6,160円

債権総論 第2版

荻野奈緒 他著 日本評論社 2,090円

平安・鎌倉の天台

井上一稔 他著 山喜房佛書林
12,999円

次世代民事司法の理論と実務

園田賢治 他著 法律文化社
12,100円

サステナビリティ 変革への加速

和田喜彦 他著 東信堂 2,970円

判例プラクティス民法 II 債権 第2版

大中有信 梶山玉香 野々村和喜
深谷格 他著
信山社出版 4,180円

自然アクセス

三俣学 編 三俣学 他著 日本評論社
2,640円

現代憲法学の理論と課題

松本哲治 他著 信山社出版 22,000円

商法学の再構築

船津浩司 他著 有斐閣 19,800円

電力貯蔵と供給の最適化技術

盛満正嗣 他著
エヌ・ティー・エス 61,600円

模範六法 2024

村中孝史 他編 三省堂 6,820円

インド太平洋地経学と 米中覇権競争

寺田貴 編
寺田貴 兼原信克 大崎祐馬 他著
彩流社 2,530円

二一世紀の国際秩序

森千香子 立石洋子 太田修 他著
岩波書店 3,520円

法、政策、そして政治

浅野有紀 他著
勁草書房 6,050円

政治における法と政策

浅野有紀 濱真一郎 他著
勁草書房 4,950円

ケースで探索・会社法

伊藤靖史 著 有斐閣 4,400円

近現代／SDGsの 歴史的文脈を探る

板垣竜太 他著 清水書院 2,530円

「社会」はどう作られるか？

石井香江 他著
大阪大学出版会 2,640円

災害復興学事典

水出幸輝 他著
朝倉書店 6,930円

探究 保健体育教師の 今と未来 20講

岩田昌太郎 他著
大修館書店 2,420円

イギリス湖水地方

白井雅美 著 春風社 2,420円

環境法

黒坂則子 他著 成文堂 3,300円

ハロー・ガールズ

石井香江 監修 明石書店 4,180円

同志社人 訪問



Eyevol

今回の同志社人

フェンシング女子エペ個人
パリオリンピック日本代表選手

よしむら みほ

吉村 美穂さん(右)

京都府出身。同志社大学スポーツ健康科学部卒業。大学在学時は、関西学生フェンシング選手権大会3連覇、全日本フェンシング選手権大会入賞などの戦績を収める。目標としていた東京オリンピック出場は惜しくも逃すが、その後の国際大会で安定した結果を残し、個人でパリオリンピックの出場権を獲得した。株式会社アイヴァン所属。

Interviewer

商学部3年次生

まつもと りのん

松本 璃音さん(左)

滋賀県出身。次世代アスリート発掘育成プロジェクト「滋賀レイキッズ」の体験会で剣を持ったことがきっかけで、小学6年生からフェンシングを習い始める。大学進学後、新人戦で予選無敗の優勝を飾ると、着実に実力を伸ばし、2024年3月に行われたフェンシング女子エペグランプリ・ブダペスト大会には日本代表として出場。目下の目標は、関西学生フェンシング選手権での優勝。

パリオリンピックが、いよいよ始まる。今回の同志社人は、7月27日に行われるフェンシング競技「女子エペ個人」に出場する吉村美穂さん。パリオリンピックにかける思い、大学時代に培った経験やフェンシングの技術について、部の後輩で吉村さんと同じエペフェンサーの松本璃音さんが聞きました。

0.5点差のドラマを経て
長年の夢、パリオリンピックへ

松本…パリオリンピック出場、本当におめでとうございます！出場が決まった瞬間はどんな気持ちでしたか。

吉村…決まった瞬間は、なんだか微妙。うれしいんだけど、「本当にうれしいのかな？どうなのかな？」という気持ち。何を言っているのか分からないですよね。

松本…分からないです(笑)。

吉村…オリンピックの出場権って、1年間の国際大会での





成績で決まるんだけど、私と競っていたもう一人の選手との差が0.5点と僅差で。

松本..すごい接戦。パリに行けるか行けないかの瀬戸際だったんですね。

吉村..そう。だからオリンピックのことはとりあえず忘れて「目の前の相手に集中!」と自分に言い聞かせて試合に臨むわけ。それで試合日程を終えて、結果的に私の方が行けると分かり...

松本..確かに、その決まり方だと決まった瞬間は複雑な心境になりそうですね。今はどうですか。

吉村..時間が経つにつれて、「目標を一つ達成したんだな」という実感が湧いてきて。今は、本当に楽しみ。プレッシャー

もあるけど、早く始まらないかなとワクワクしています。

松本..吉村さんにとってオリンピックは、長年の目標だったと聞きました。

吉村..最初に目指したオリンピックは、東京でした。でも、個人は代表まで6点も離されていて全く届かず。団体に望みがあつたんだけど、それも1点差で逃して。「ああ、やっぱり私にオリンピックは無理なんだ」と、その時は思いましたね。

松本..でも諦めなかったんですね。

吉村..まずは「強くあること」をテーマに、頑張つてワールドカップとか海外の試合で結果を出していたら、目標としてのオリンピックがまた私に近づいてきたという感じです。

松本..改めて「すごい!」と思います。パリでの活躍、部のみんなと一緒に応援します!

ハードな毎日を強さに変えて 学業とフエンシングの両立

松本..同志社大学での経験について教えてください。部の先輩でもある吉村さんが、どんな学生生活を送っていたのかすごく気になります。

吉村..同志社大学は、まず学業が優先されるので、1・2年生の頃は、授業やレポートに追われながらの部活。18時から20時まで練習し、その後バスで帰宅するという毎日でした。学業優先は今も



そうじゃない?

松本..はい。学業優先は今もそうです。両立は本当

に大変ですよ。

吉村..試合で授業を休む場合、レポート提出や後

日のテストで対応してくれたのは助かりましたが...。3年次生になるとフエンシングがいよいよ本格的に。東京に部屋を借りて、ナショナルチームの練習に参加するようになりました。

松本..東京と京都を行き来する生活ですか。めっちゃ大変そう! そんな経験が強さにつながっているんですね。ところで、フエンシングを始めたきっかけは何だったんですか?

吉村..3歳から器械体操を習っていて、その教室にフエンシングを教えるコースができたんです。それがきっかけ。同じ時期に始めた姉に「負けたくない」という気持ちがモチベーションでした。松本さんはどうしてフエンシングを?

松本..バレエを習っていたのですが、小学校6年生の時に、ある体験会に参加して。「人を剣で突いたら勝ち」って、「なんだか新鮮!」と思ったのがきっかけです(笑)

吉村..私も最初は、突いたら音が鳴るおもちゃが楽しくて通っていました(笑)。同志社大学の田淵和彦名誉教授に「指導いただいてから、駆け引きとか、自分の技が決まった時に「楽しい!」っていう感覚が分かってきて、それで今も続けているという感じです。

自信を保つ、勝利を掴む フエンシングの技術





松本..フェンシングの技術について聞いてもいいですか？ 私、個人だと4対4、団体だと44対44からの一本勝負に弱くて。吉村さんは、一本勝負に臨む前にどんなことを考えていますか。

吉村..そうですね…。例えばその試合で4本突いたなら、なぜポイントが取れたのか、どういう風に突いたのかを分析する。そして一本勝負の前に、何が相手に有効なのかを考えて、その技を出す。



撮影場所:EYEVAN SHOWROOM



フェンシングは、エペ、フルーレ、サーブルの3種目がある。吉村さんは「女子エペ個人」代表としてパリオリンピックに出場する。エペならではの「全身を的として突き合うスピーディな駆け引き」が見どころ。

松本..試合中に試合を振り返る..難しいです。

吉村..まあ、これを言ってしまったら本当はダメなんだけど、ジャンケンみたいなもので。その技が決まらなかった時は、その相手には合わなかったってだけのこと。他の相手には通用するかもしれない。だから、自信を失わないようにするのも大事。

松本..フレッシュ※について最後に突かれると「フレッシュはもう使わないでおう」ってめっちゃ思います。

吉村..そんな時は、突かれた原因を探ることに集中して。フレッシュを繰り返すピストの場所や、技を出すまでの時間の使い方も影響するから、その辺を見直していく。

松本..なるほど。冷静に細かく分析すると、本当はフレッシュが「使える技」かもしれないと。

吉村..そう。あとは、自分がどういうフェンシングをしたいのかを持つておくといい。相手が向かってきたところを突きたいのか。アグレッシブにアタックで取りたいのか。核となる

取材を終えて

Interviewer

松本 璃音さん



まずは、オリンピック直前にもかかわらず吉村さんとお話できたこと光栄に思います。先輩の経験談を通じて、フェンシングの奥深さや競技者としての心構えなど具体的なアドバイスを聞くことができ、今後の部活動や個人の成長に役立ついい機会になりました。また、先輩の努力の積み重ねが今の成果につながっていることを実感しました。改めて、今自分がこの同志社大学でフェンシングが出来る環境に感謝したいと思います。先輩の背中を追って私も頑張ります！

ものがあれば、失敗しても「大丈夫」って思えるから。

松本..勉強になります。では、先輩たちへのアドバイスもお願いできますか。

吉村..今、こういう練習メニューを組んでいるのかわからないので、具体的なことは言えないけど、目標から逆算して、今、何をすべきかを考えること。フェンシングって「フィジカルチェス」と言われるように、駆け引きの多いスポーツだから、漫然と練習するのではなくて、考えながら練習しないといけない。結果、その経験は社会に出てからも役立つと思うし。

松本..ありがとうございます。最後に、パリオリンピックへ向けて、意気込みをお聞かせください！

吉村..パリオリンピックは、16年間のフェンシング人生における最大の目標でした。オリンピックに出場できることは本当に嬉しい。パリではメダルを目指して、自分の全力を尽くすつもりです。どうか応援、よろしくお願いします。

※フレッシュ：剣を矢のように突き出し、跳び込んでいく攻撃動作

挑戦する人 My Purpose

よしだ はな
吉田 陽菜さん
グローバル地域文化学部
1年次生

愛知県出身。姉の影響で5歳からフィギュアスケートを始める。ノービス時代に習得したトリプルアクセルを武器に、今シーズンからシニアへ。試合前のルーティンは糖分補給に羊羹を食べること。木下アカデミー所属。

インタビュー動画も
チェック



ジャンプを強みに 大技に挑み続ける 揺るぎない覚悟

トリプルアクセルは、いつも世間に大きな感動を与えてきた。女

子フィギュアスケートの大神として1988年の伊藤みどりさんの成功から、浅田真央さんや紀平梨花選手などの類い稀なる才能を持つフィギュアスケーターが挑んできた壁。そのそうそうたる顔ぶれに名を連ねているのが、吉田陽菜さん。

今年3月、カナダ・モントリオールで行われた世界選手権に初出場し、8位という成績を収めた。幼い頃からジャンプが得意だったという吉田さんが、トリプルアクセルを跳びたいと思ったのは中学1

世界へ羽ばたく相棒は
勇気をくれるトリプルアクセル

年生のとき。チャレンジカップで、アメリカのアリサ・リュウ選手が跳んでいるのを見て衝撃を受けた。「当時はできる人が少なくて、同年の選手の成功を目にして、自分も跳んでみたい、いや跳べる!と思いました」。帰国後、すぐに練習をはじめた。これまでで「ジャンプと共に戦ってきた」と話す吉田さん。高い技術力を強みに、シニアデビュー1年目にして世界選手権へ。緊張もプレッシャーもあるが「このレベルまで来たら当たり前なもの」と受け入れる。「これだけやってきたからきっと大丈夫」って思える練習をすることが、大事なんだと思います」と語る口調は柔らかだが、芯の強さがうかがえる。



トリプルアクセルに挑戦するきっかけとなったチャレンジカップにて、アリサ・リュウ選手と(写真中央が吉田さん、右がアリサ・リュウ選手)

域の歴史や文化、言語などの知識を深める。そんな中、新しいプログラムに選んだ曲は、フランス語の音楽。大学での学びも強さに変え、フィギュアスケーターとして躍進していく。その歩みに欠かせないのはやはり、トリプルアクセル。吉田さんにとって、ずっと共に戦ってきた「相棒」のような存在。「現役の間はずっと跳び続けたいです」と語る背景には、浅田真央さんの存在がある。「挑み続ける姿に勇気をもらいました。次は自分の番。見てくださる方々に感動を与えられるような選手でいたいです」。大技とタッグを組み、世界の壁に挑み続ける。